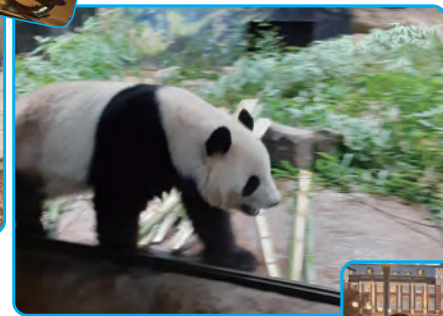


菊池高校
育友会NEWS



発行人
熊本県立菊池高等学校
育友会広報委員会
発行責任者 家入 愛菜
編集者 實取 乃ぞみ



菊高ジマック

ショップの各店舗紹介

青春の力で熊本を応援!

志業を担う高校生の地産の飲食店を応援。オリジナルメニューを考案し、生徒たちの発想でこれまで培ってきた知識や技術をフル活用し、熊本の「おいしさ」を発信します。

米蔵 米蔵 米蔵

いつもの昼は、ここから始まる。パン屋「きるん」

菊高ジマック

令和7年10月18日

第5回 菊高ジマック

令和7年10月18日(土)

場所：菊池高校

SHOP WORK LOVE

菊高ショップ 時間9:30~15:45
キクザニア 時間10:00~15:00

営業時間 11:00~14:00

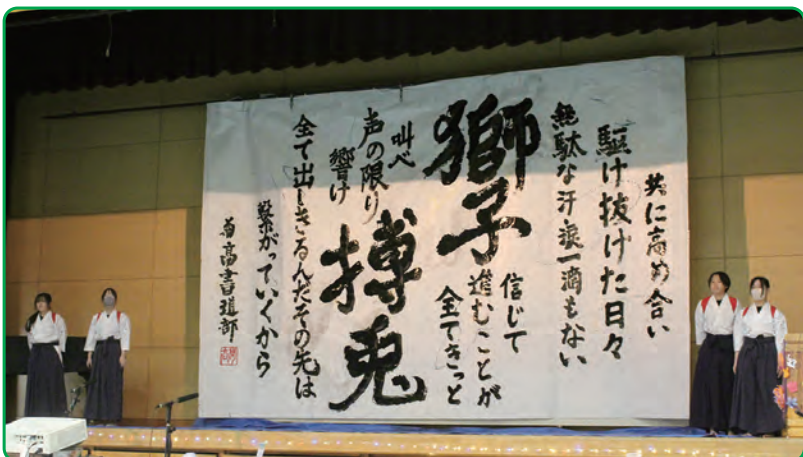
学校ホームページ QRコードはこちらです。

キクザニアQRコード スクールショップQRコード



10月18日(土)、恒例となった菊池高校商業科のイベント「菊高ジマック」を開催しました。当日は曇り空でしたが、心配された雨の影響もなく、500名を超える多くのお客様にご来場いただきました。毎年人気のキクザニアは、事前予約だけでも250名を超える応募がありました。今年は芋掘りやモデルとなってランウェイを歩くなど、新しいブースも登場しました。スクール婚活は、応募者が少なく、開催することではできませんでしたが、生徒達が企画していたお楽しみイベントを来場者の方に体験していただきました。

菊高ショップも大盛況で、新しくプリンやりんご飴を仕入れて販売するなど流行りの商品を取り揃えて時間までにすべての商品が売り切れとなりました。3年生の頑張りだけでなく、1・2年生の頑張りも目立った菊高ジマックとなりました。



菊翔祭 文化の部



今年の菊翔祭は体育の部、文化の部を通して「獅子搏兎」というテーマのもと取り組みました。言葉の通り、生徒一人ひとりが全力で取り組む姿が随所に見られ、生徒会担当として大変感動いたしました。各クラスや部活動、委員会がそれぞれの良さを生かし、発表や展示に工夫を凝らしていたことは、生徒たちが積み重ねてきた努力の証であり、大きな成長の一つだと思います。

生徒会企画のクイズでは地域への関心を高める工夫が見られ、主体的に学校行事を創り上げようとする姿勢が頼もしく感じられました。準備段階から当日運営まで、仲間と協力しながら前向きに取り組む姿に、行事の本当の価値が表れていたと思います。この経験を今後の学校生活にもつなげ、さらに活躍してくれることを期待しています。



1年生

育友会林体験活動を終えて



なぜこのような作業が必要なのかといった詳しい説明を受けていました。帰路につく際は、疲れた様子でしたが、達成感に満ちた良い表情が印象的でした。

協力して製品をつくる面白さや、普段交流がない他クラスの生徒と会話し、充実した時となりました。大変な負担や支援を必要とする育友会林体験活動ですが、今後生徒たちがO B、O Gとなり、過去に活動した思い出を未来の菊高生に語れるように、今後も伝統的行事として継続してほしいと思います。

生徒感想 (抜粋)

○ 杉苗植林

今回の体験活動を通して、みんなで協力することの重要性を学び、作業が早く進むだけでなく、一人ひとりの力も高まることを実感しました。山の上まで登る道のりは大変でしたが、杉の苗を植林する作業は楽しかったです。自然に囲まれた中で食べたお弁当も、良い思い出の一つとなりました。協力いただいた方々のおかげで、みんなの仲もさらに深まりました。



○ 杉苗植林

今回の植林作業で一番印象に残ったのは、苗を植える作業で腰がとても痛くなったことです。しかし、最後の木の棒(杭)を土に打ち込む工程は楽しかったです。自分たちが植えた木が、60年後にどのように大きく成長すると聞いて、とても驚きました。そして、その成長した姿を見るのが楽しみにまりました。普段、木の苗を植える機会はないので、大変貴重で楽しい体験となりました。

○ ベンチ作成

今回の体験活動で楽しかったことは、みんなで協力して木材を切る作業や、クラス関係なく一緒にお昼ごはんを食べたことです。木を切る作業は5人一組で順番に交代し、お互いに声を掛け合ったり、アドバイスをもらいながら進めたので、非常に楽しかったです。また、最後に全員で一斉に取り組んだヤスリがけも、いい思い出になりました。苦労した点は、最初の切り込みを入れる作業が難しかったことや、木材をまっすぐ切るた



めに、線の確認を念入りに行っていたことです。自分の番が回ってくるだけで、すごく緊張して疲れを感じました。



寺田智香さん

2025年8月2日、5日にかけて、広島県で開催された全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ロイヤル競技において、女子シングルスカルに出場していた本校ボート部の寺田智香さん(2年生)が見事初優勝しました。寺田さんは「多くの方々に応援していただいたので、今は日本一になって熊本に帰れることがいちばんうれしいです。」と語っていました。また、10月4日〜7日

にかけて滋賀県で開催された「国民スポーツ大会」では、済々黌高校の上村羽愛子さんとペアを組んだダブルスカルで見事優勝に輝くなど、今年度素晴らしい記録を次々に打ち立てています。11月1日〜2日に熊本県菊池市の斑蛇口湖で開催された全国高校選抜大会九州地区予選でも昨年に引き続き優勝し、2連覇を果たしました。これにより寺田さんは、来年の3月20日〜22日に静岡県浜松市の天竜ボート上で開催される全国選抜大会に出場します。

今後は日本だけでなく、世界一を目指し、さらに頑張りたいと思います。これからも頑張ってください。

編集後記

第2回目の広報誌発行にあたり、たくさんの方々にご協力いただき、感謝申し上げます。たくさんのご感動をお伝えすることができ、大変うれしく思います。次回も皆様に親しまれる広報誌を目指して頑張ります。

